

江東区 青少年委員だより

No.68号

江東区青少年委員会
広報部
江東区青少年センター
(仮事務所)
江東区北砂5-21-5
TEL.5633-6371
FAX.5633-4127

カヌー体験と 普通救命救急講習 中学生体験プログラム in 2016



指導を受ける中学生



体験談を熱く語る 諏訪選手



実践!!
心肺蘇生法



平成28年10月2日(日)、「中学生体験プログラム」を開催しました。

当日は、区内の中学生18名が参加しました。旧中川で「カヌー体験」をした後、亀戸東地区集会所で「講演」と「普通救命講習」を行いました。

カヌー体験では3つのグループに分かれ、亀戸カヌー万歩倶楽部の皆さんによる1対1の指導のもと、30分ほどカヌーを楽しみました。始めはぎこちなかったパドル操作も終了時には水の上をすべるように進むことができるまでに上達しました。カヌー体験の待ち時間は「2015年こうとうこどもカヌー大会」のDVDで小学生の雄姿を視聴して過ごしました。

その後、区の職員であるパラカヌー選手の諏訪正晃さんに講演で、「パラカヌーとの出会い、なぜ努力を続けるのか」を話していただきました。「夢を実現する手段として、とりあえず努力・一生懸命な生活を続けることが大切。その日々の積み重ねの結果として夢にたどり着く。だからとにかく頑張る。自分はパラカヌー選手として結果を残すために今も努力を続けている」と、熱く語っていただきました。

昼食後は、地域の消防団員として活躍している青少年委員による「普通救命講習」が行われました。心肺蘇生法とAED操作法を体験し、その場に居合わせた人が救急車の到着までに行えることは何かを学びました。

青空のもとでカヌーの面白さを実感し、諏訪選手の夢に向かって努力することの大切さの話に感動し、救命講習では命を救うことの意味を学ぶことができた充実した一日となりました。

第10回 江東区内都立高校紹介

行ける学校から行きたい学校へ

会場の参加者からの
質問に答える高校生たち



平成28年8月27日(土)、第10回江東区内都立高校紹介を開催しました。暑さが少し和らいだこの日、区内在住の小・中学生と保護者を対象に、江東区にある都立高校8校の生徒会役員の皆さんから、各校それぞれの特色ある活動や行事、進路実績などを説明してもらいました。

和やかな雰囲気の中、高校生の説明を真剣に聞き入る様子が見られました。具体的でわかりやすい説明は進路選択の参考になったことでしょう。

来場者(459名)からのアンケートの中には、「文化祭や説明会に行ってみたい高校ができた」という感想など、たくさんのご意見・ご感想や要望をいただきました。

「行ける学校から、行きたい学校」を選択する一助になればとても嬉しいことです。これからも、より良い催しになるよう青少年委員会も考えてまいります。

選挙～みんなが選挙に行くには!

第11回 江東区立中学校 生徒会長交流会 をテーマに

平成29年1月21日(土)、第11回江東区立中学校生徒会長交流会が深川第七中学校で開催され、区内23校57名の生徒会役員生徒の参加がありました。4グループに分かれて、第1部ではグループ交流会、第2部では青少年委員を交えてのブレーストーミングによるグループ協議を行いました。第1部では、各学校の生徒会活動の紹介、悩んでいることや課題を発表して情報を共有し、改善策を見出しました。(生徒会新聞、目安箱、朝のあいさつなど) 第2部では、「18歳選挙権について考える」をテーマに、グループ内で、各自の意見を書き出し、出された意見を集約して、項目ごとにまとめました。そして、アピールをする文言を考え、それをもとにして標語をつくりました。

意見 ネット投票、選挙減税、学校で団体投票、投票所で景品配布、学校で選挙を学ぶ等。

- 標語**
- ◆投票アプリで気楽に! 安全に!
 - ◆いつもの場所で! ついでに投票、ついでに減税
 - ◆若い手で創っていこう輝く未来 Let's インターネット投票
 - ◆学ぼう! 選挙 行こう! 投票

「18歳選挙権」について意見を出し合う中学生



短い話し合いの時間でしたが、素晴らしい標語が決まりました。どのグループの発表者も堂々としており、達成感に満ちあふれた姿が印象に残りました。

区長と語る会

平成29年2月2日(木)、「区長と語る会」が行われました。山崎区長、青少年課小林課長、青少年センター末廣所長、青少年委員会からは、会長・副会長・平成28・29年度青少年委員会役員と校長会の計15名が参加しました。各委員の活動の話を中心に語り合い、懇親を深めました。



区長を囲んで

成人式

式典運営に協力、 各コーナーで青少年委員大活躍!!

平成29年1月9日(月)成人の日、ティアラこうとうを会場に「江東区成人式」が午前と午後の2部制で開催されました。男性1,421名、女性1,201名の合計2,622人の新成人が出席しました。当日は、朝から小雨が降る悪天候でしたが、開場前から多くの新成人が集まり、旧友と喜びを分かち合っていました。会場内は色とりどりの振り袖や羽織袴、スーツなどを身にまとった新成人で埋め尽くされ、華やかな光景でした。式典では、和太鼓の演奏、区長祝辞、新成人による決意表明などが行われました。また、お楽しみ抽選会や記念撮影などがあり大いに盛り上がりました。今後も青少年委員会は成人式のお手伝いを通して応援していきます。



新成人で埋めつくされた会場



記念撮影のお手伝い

～ 特別支援教育とは ～ 研修会

平成29年1月27日(金)、江東区総合区民センターにおいて、香取小学校 校長 内海幹子先生に「発達障害をもつ子どもとの関わり方」— 特別支援教育とは — の講演をしていただきました。

先生が教員としてのキャリアの初期に岩手県の小学校の担任をされ、場面緘黙(家庭では話せるのに学校やある特定の場面、状況では全く話すことができなくなる)の障害をもった児童との出会いから始まり、ご自身の体験に基づく話に引き込まれました。

発達障害をもつ子どもとの接し方のなかでは、「声のトーンを抑え、穏やかに話しかけ、肯定的・視覚的・具体的な伝え方を工夫する」とありますが、その通りに私たちにもわかりやすく演題をお話しくださり、これからの少年キャンプ等で出会うかもしれない児童との接し方に大変勉強になる研修でした。



真剣に聞きいる青少年委員

地区会 探検!!

第2回 深川北部地区



深川北部青少年委員は今期より、深川小の笹井委員(地区長)、扇橋小の小松原委員、小学校校長会より八名川小校長の手島委員をお迎えして、和気あいあいと学校行事や地域の行事に参加し、青少年委員の役割を努めています。

平成28年11月19日(土) 八名川小学校100周年記念式典の祝賀会に全員で出席させていただき、子どもたちの演奏や合唱に感動し、この地域の絆を改めて深く感じる事ができました。

区民と交流

心温まる

なっかしの縁日



会場整理に大忙し



景品に命中!!

平成28年10月15日(土)16日(日)、秋晴れの中、第34回江東区民まつり中央まつりが都立木場公園で開催されました。青少年委員会の

ブースでは、4回目を数える“なっかしの縁日”を実施しました。連日、子どもたちや親子連れが長蛇の列をつくりました。射的は2日間で1,486名、ポン菓子では1日で1,410名の来場者があり、たいへんにぎわいでした。当日は、委員全員がそれぞれの担当に分かれて、誘導の声をかけたり、来場者に声援を送ったりと一丸となって活動しました。

今年度も復興義援金箱を設置したところ多くの協力をいただき、44,779円が集まり、被災地に寄付することができました。ありがとうございました。

青少年委員会の活動について、地域の方々にアピールできる良い機会となりました。

最新科学技術 にふれる

Miraikan

生涯 学習施設 見学会

平成28年11月26日(土)、江東区青海にある日本科学未来館で見学会を行いました。

日本科学未来館では、イベント「G空間EXPO 2016」が開催されていました。「G空間(情報)」とは、将来が期待される重要科学分野の一つです。地理空間情報高度活用社会(G空間社会)の実現へ向けて、産学官が連携し、地理空間情報と衛星測位の利活用を推進するものです。このイベントでは、日本の「G空間社会」を支える最先端の技術やサービス等が紹介されていました。また、ドームシアターでは、観測・理論・実験に加えスーパーコンピュータによる「シミュレーション」から得られた研究成果の一部を「バースデー～宇宙と私たちをつなぐもの～」と題して、銀河系が生まれてくる様子や、宇宙が誕生したころの様子を解説していました。これは、立体視プラネタリウムならではの迫力がある映像でした。

身近なものにも奥深い科学技術が関係していることを、再認識した良い機会となりました。



地震シミュレーターで説明を受ける委員

伝統文化、モノづくり体験

江戸川 墨田 江東 城東ブロック研修大会

平成28年9月24日(土)、「青少年の体験活動の機会充実と普及啓発を学ぶ」～みて、さわって、創造力を豊かに～をテーマに掲げ、すみだリバーサイドホールにおいて、東京都城東ブロック青少年委員連絡協議会平成28年度研修大会が開催されました。

大谷会長をはじめ参加した20人の委員も3つのグループ(革製品・屏風・時計)に分かれモノづくりの体験をしました。モノづくりを通して下町の伝統文化に触れることは、青少年が自立心や協調性を身につけるために役立つことを学びました。また、実体験の積み重ねが創造性を育むことにつながる、ということも実感できた有意義な研修でした。



からくり屏風

革製品

時計

編集 後記

部員一丸となり、多くの行事に参加し、紙面作りをしてきました。

これからも青少年委員会の活動をアピールしていきたいと思えます。(I・I)